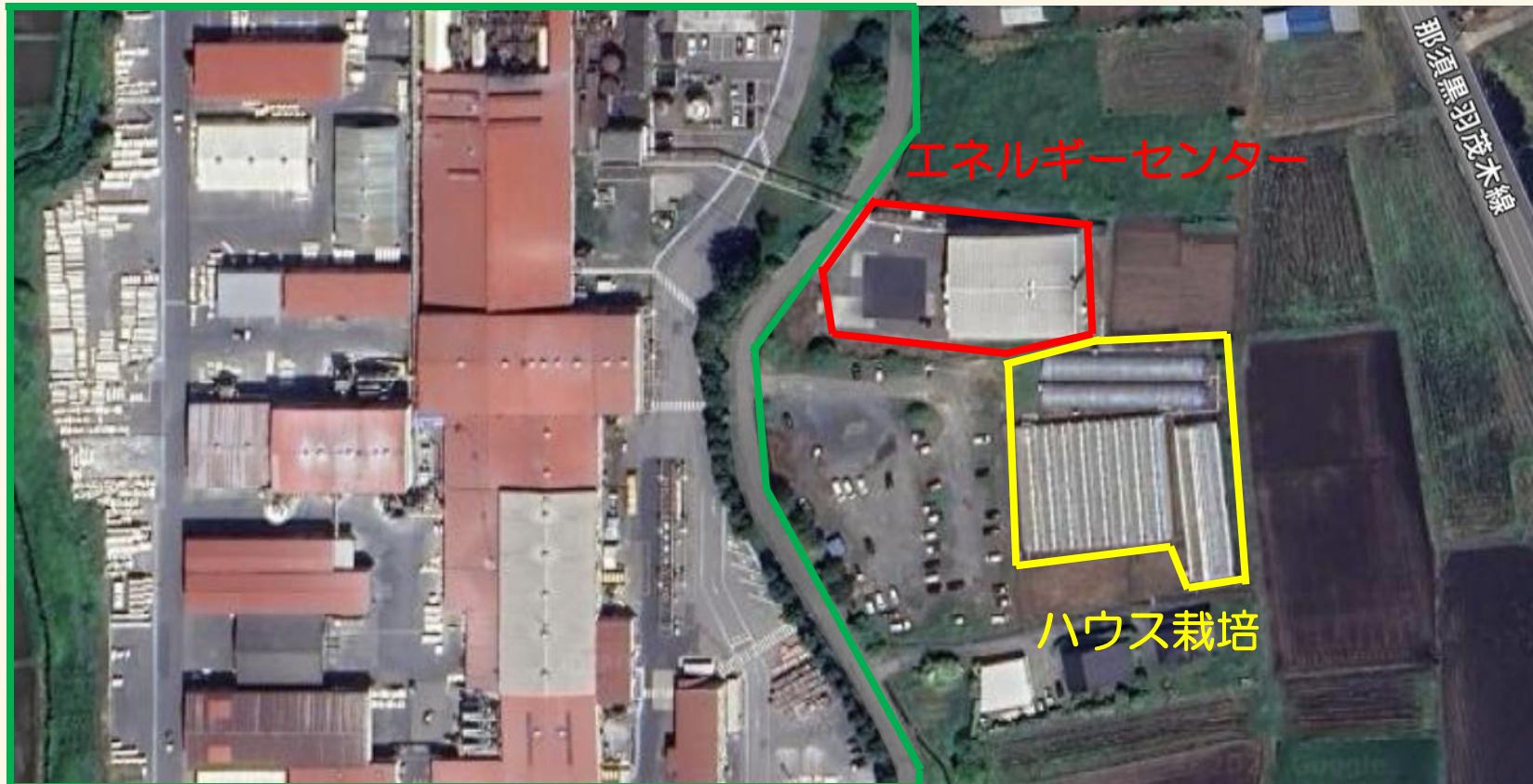


エネルギーフォーレ50 ～那珂川モデル 松野編～

ケイミュシポレックス栃木工場

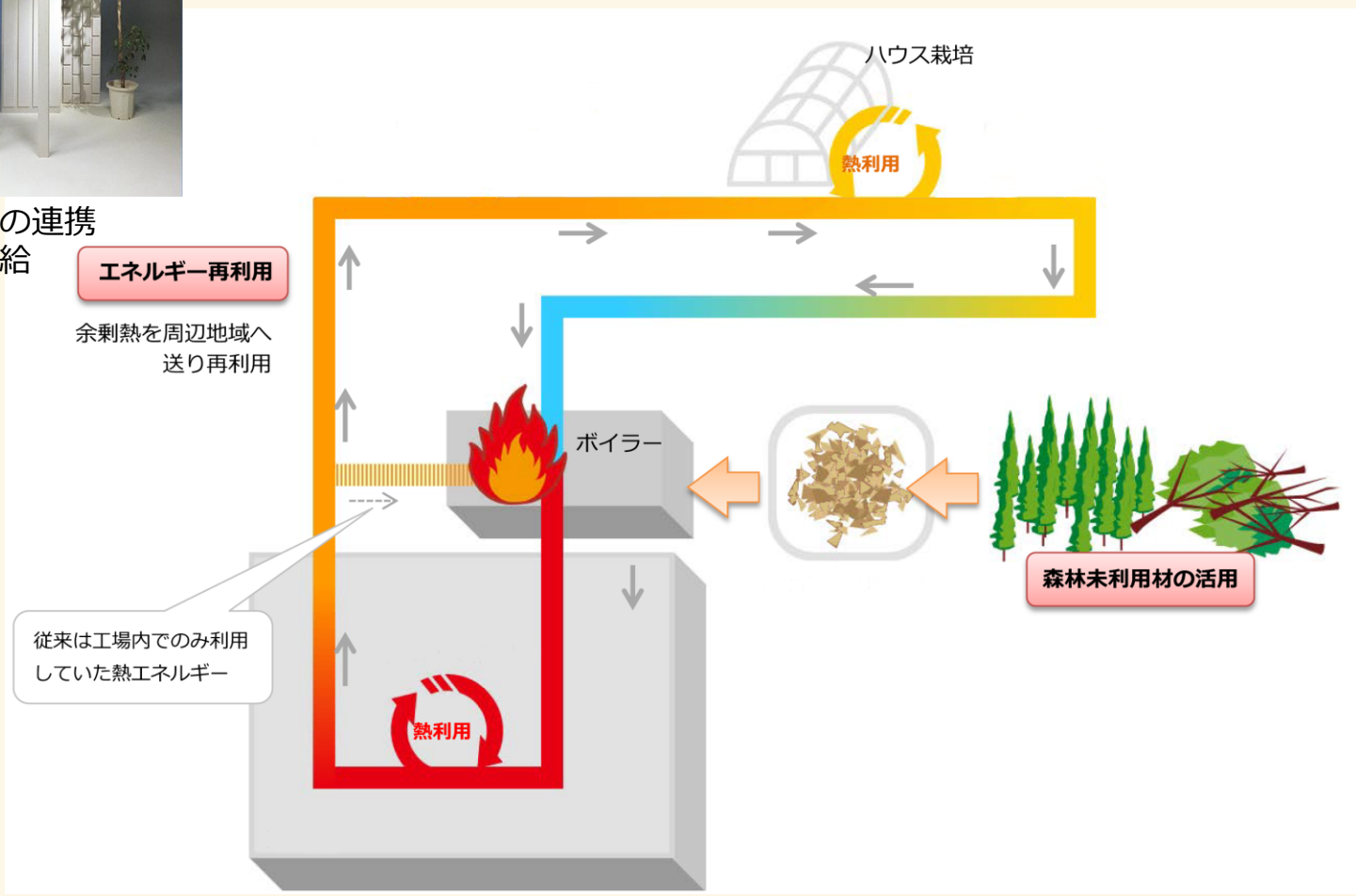


エネルギーフォーレ50「那珂川モデル」には、実は続きがあります。馬頭東中学校跡地のある大山田地区から約12km、南下した松野地区における工業・農業への複合的なエネルギー供給事業です。





シポレックス栃木工場様との連携
「工業製品」製造への熱供給



シポレックス栃木工場では、コンクリート製の建材を作る際の熱エネルギー（工業）の一部を、那珂川バイオマスが設置したエネルギーセンターから供給する熱エネルギーに置き換え、脱炭素に取り組んでいます。
 さらに、余った熱については、ハウス栽培（農業）で再利用し、熱エネルギーのカスケード利用に取り組んでいます。



カーボンニュートラル(脱炭素化)

世界が目標を掲げ、取り組みを進めている[2050年カーボンニュートラル]について、シボレックスは、工場ごとにCO2排出量の削減に向けた、さまざまな取り組みを行っています。

ケイミューシボレックス
「SIPOREX'S ECO MISSION」より

栃木工場の取り組み

バイオマスボイラーを使用

株式会社那珂川バイオマス社と協業し、本来捨てられてしまう木や、製材の過程で出た端の部分などをボイラーに燃料転換しています。また、排蒸気の余熱は農業等に利用されています。



栃木工場

山林が約60%を占める那珂川町。盛んだった林業も、安価な輸入材に押され、約30年前から衰退傾向に。バイオマスの利用により、農林業の再生、循環型社会の構築、地域活性化にも貢献。

重油ボイラーの最適化を実現

必要蒸気の60%をバイオマスボイラーへ転換することにより、重油ボイラーを最適化し、効率的な稼働が実現しました。

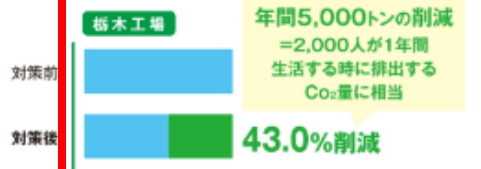


mission 02を
実行した結果



CO₂を削減

単位生産量当たりのCO₂削減比較(対策前を100とした場合)



ケイミュー様のHPでは、脱炭素にかかる取組として那珂川バイオマスとの連携により削減できた二酸化炭素の量を、計算いただいています。



鈴木材木店様 「なかよしマンゴー」栽培



星の見える丘農園様 「ドラゴンフルーツ」栽培



熱エネルギーの農業利用では、ハウス栽培の熱源に利用しマンゴーやドラゴンフルーツの栽培に成功しています。馬頭東中学校跡地での成功体験が、花開いた形となっているわけです。

「工業」と「農業」、異なる産業間での熱利用事業の核を、地域に根ざした産業である「林業」が担っていることとなります。

エネフォーレ50「那珂川モデル」に賛同し、新たな特産物である那珂川町産のうなぎ・マンゴー・ドラゴンフルーツを生みだした林屋川魚店・鈴木材木店・星の見える丘農園ら、意欲ある地域の事業者様たちは、平成27年に「那珂川町地域資源活用協同組合」を立ち上げ、町内の森林資源を有効活用したエネルギーを利用し、農産物の6次産業化などを目指すこととしました（※）。 ※H27.5.28下野新聞報道、H27.5.28読売新聞報道

あかねてらす
那珂川町谷田458-2
営業日・営業時間などの
詳細は[Instagram](#)へ



平成30年には町内に交流型直売施設「あかねてらす」がオープン。生産した特産品の販売やイベント等を通して、地域に新たな活力を生み出す取り組みが行われています。

